

## マツムラ電子工業 株式会社

# 基板製造と完成品組立 海外生産ニーズにも対応

海外発注可  
納期相談  
コスト相談  
試作可  
小ロット  
量産対応



ベトナム工場機械実装ライン

## 業務内容 電子回路基板の実装、生産性向上 治具創製し製作提案

電子機器の心臓部であるプリント基板に設計段階から携わり、製造した基板を含めた完成品組立も手がける。基板製造は少ロットにも量産にも対応。設計段階から顧客と打ち合わせし、効率的で安定した生産について提案をしている。また、要望があれば電子部品を自社調達し、汎用共通部品などはメーカーよりダイレクトで一括購入することでコストメリットを出している。生産に関わる検査装置や生産治具も創案から製作まで社内対応できるノウハウも特徴。平成24年にはベトナム工場を竣工し、顧客の海外志向にも対応できる体制を整えている。

## 強み 不良率7ppm 静電気破壊の防止策も推進

1005チップ（1.0mm×0.5mm角）の標準実装に加え、0603サイズ対応の実装機ほか、全ラインに塗素流入式リフロー炉を完備。機器の信頼度を高めるための防湿対応コーティング装置も導入するなど、常に業界の最先端設備をそろえる。また、競合他社に比べて際立つのは不良率の低さ。扱い製品総数1,473品種をこなし、過去1年（平成27年8月―平成28年7月）に生産した製品及び基板の総数は約600万と膨大な数の中で不良はわずか38件。率にして7ppm（パーセント・ミリオンの）だった。さらなる不良率低減を目指し、温湿度を適正に維持管理し、粉塵や埃、静電気を抑制して微細加工の精度を上げるノウハウを蓄積している。

## 材着 ものづくりの品質 人材の高い定着率が支える

不良率の低さはハード面の対策だけでなく、得るものではない。松村智香社長は「品質検査に訪れた顧客から指摘されたのは「社員の顔ぶれが変わ

らない」という「マツムラ」の特徴だと語る。社員の定着率の高さは、検査の熟練度や、作業スキル、顧客からの情報を的確に伝達できる社内のコミュニケーション力など、あらゆる面で好影響を与えている。平成15年に日本で雇用を始めたベトナム人研修生を帰国後にベトナム工場で雇用することで、人材定着と「Japan Quality」の実現を目指している。松村社長の「顧客の製品にかける思いを受け止め、持てる最大限の力で製品をつくる」という思いは国内外で継承されている。

## 後の展望 部品管理システムで トレーサビリティを確立

平成28年2月、インテリジェント部品管理システム「SMDタワー」を本社工場に導入した。「SMDタワー」とは、部品の先入れ先出し、残数管理、防湿管理などを自動で行う装置。導入背景には、近年の基板不良は実装ではなく調達した部品に起因することが少なくないという事情がある。

松村社長はトレーサビリティ（生産履歴管理）で「調達部品を含めた保証ができる体制にしたい」と構想を語る。「SMDタワー」を駆使することで、独自の部品管理システムの構築とノウハウを蓄積し、約1万5,000㎡の敷地を取得して成長余地を残すベトナム工場や、量産工場の津山工場（岡山県津山市）にも「SMDタワー」による部品管理ネットワークを展開する。



部品管理システム「SMDタワー」



社内で作成した生産性向上の治具

## 当社の歴史



大正9年、鉱石ラジオと無線通信機などの製造で創業し、電子機器製造工場として規模を拡大してきました。昭和57年に、業界に先駆けて最先端の部品自動挿入機を導入。時代の要求を敏感に察知し、顧客対応力を高めてきました。平成31年に迎える創業100年に向け、よりいっそうの顧客満足を追求していきます。

代表取締役社長 松村 智香さん

<http://www.matsumura-el.co.jp/>

### 主な事業内容

電子回路基板の設計および、実装、生産治具・検査治具製造、電子部材調達など

### 主な取引先(納入先)

防災機器関連、家電・通信機器、紙幣鑑別機器、各種産業機器関連の大手メーカー

### ●住所

〒544-0011  
大阪市生野区  
田島5-4-22

- TEL 06-6757-5231
- FAX 06-6754-2825
- 創業 大正9年2月
- 設立 昭和30年2月
- 資本金 1億円
- 従業員 250名